

令和5年度 大阪府環境審議会 第1回 環境・みどり活動促進部会 議事概要

日 時：令和5年5月9日（火）16時00分～17時00分

開催方法：大阪府咲洲庁舎 23階 中会議室（オンライン会議システム併用）

出席者：増田委員（部会長）、阪委員、花田委員、三輪委員、山口委員、岡見委員

1 開 会

2 議事概要

議題1：「大阪府環境教育等行動計画」の見直しについて

事務局より、部会報告素（案）について説明し、各委員から意見を伺った。委員からの主な意見は以下のとおり。

■はじめに

- 気候変動・生物多様性、プラスチックごみによる海洋汚染について、3つを記載しているが、プラスチックごみは、生物多様性問題のサブ問題という認識がある。国際的には、気候変動と生物多様性の2つ柱があるという記載の方が分かりやすいと思う。（山口委員）
- 気候変動と生物多様性は、国際的にも同じレベルで議論がされているが、プラスチックごみは、廃棄物の中でも限定された話なので書き分けをした方が良い。（花田委員）
- 「プラスチックごみ」の前に「大阪湾を保有する府にとっては」を入れるなど検討してはどうか。（増田部会長）
- 3ページ13行目の持続可能な社会の例示が二酸化炭素の排出だけになっているので、生物多様性の例示も記載してはどうか。（山口委員）

■環境教育等をめぐる状況等について

- 3ページ20-21行目に、環境教育により自分自身の行動変容のほかに、社会を変えていく人材を育成していくという観点をに入れてはどうか（三輪委員）。
- 4ページ27行目の「ESG金融」については、経済産業省では「サステナブルファイナンス」という表現が使われるようになってきている。（阪委員）
- 8ページ27行目、「地域で活動する団体等を積極的に掘り起こし」について、今後、補助金などの支援制度で高校や大学で活動する団体を積極的に掘り起こすことが重要。「団体」の後に「高校や大学での活動」を入れてはどうか。（増田部会長）

■今後の環境教育等の推進について

- 4推進方策に（1）から（3）の3項目が出てくる背景、前後の関係などを記載し、全体構成が分かるように記載すると良い。また、（1）～（3）のそれぞれの項目においても説明が必要。（山口委員）
- 13ページ18行目、学校等における環境教育については、政策提言の仕方や他の主体と連携する力などを身に付けていくことに触れてはどうか。（三輪委員）
- 15ページ29行目、農林の分野でも脱炭素が求められてきており、リーフレットなどを作

成していると思う。環境農林水産部内での取組みで該当するものがないか確認が必要。
(増田部会長)

- 16 ページ 33 行目、大学との連携について、府では様々な大学との包括連携協定があると思うので、幅広く記載してはどうか。(増田部会長)

■おわりに

- 18 ページ 16 行目、「次期計画の改定に向け」の前に、「SDGs の終了後のあり方等に関する国際動向も踏まえて」などを追記してはどうか。(増田部会長)

3 閉 会

以 上